

2020年度事業計画書

自 2020年（令和2年）4月 1日
至 2021年（令和3年）3月31日

公益財団法人 日米医学医療交流財団

2020年度事業計画

収支環境が厳しさを増す中で、安定した財源の確保を図りつつ、公益法人として着実に事業を実施する。また、中長期的な視点に立って、本財団の目的に合致し、本財団が実施するにふさわしい事業の展開を推進する。

事業概要

1. 賛助会員・寄附の募集について

本財団の基幹的な収入である賛助会費・寄附金の目標額を定め、賛助会員・寄附の募集活動を積極的に推進する。2017年度にタスクフォースによる集中検討の結果、助成事業の軸足を日本版ホスピタリスト育成に舵を切った。昨年度に引き続き、その基本方針に沿って日本版ホスピタリスト助成の周知及びネットワークづくりに注力し、また併せて民間企業への周知を行い、賛助会員の拡大、寄付の拡大を図る。2019年2月3日に開催した30周年記念会における日本版ホスピタリスト宣言のフォローアップ及び受入れ医療機関の経営者向けのセミナー等を行なう。日本版ホスピタリストの定着に向けJANAMEFのホームページのグレードアップを進めるとともに、臨床教育プロジェクトを推進し、支援者の裾野の拡大を図る。

2. 助成事業について

医療関係者の留学助成事業は本財団の中心的な事業であり、グローバル化が進展していく中で国際的な架け橋となり、国際的人材の育成に貢献していく。日本版ホスピタリストの育成に向けて10年間、年間1,000万円、総額1億円を、財団の基本資産を取り崩して助成に適用することが、2017年11月の評議員会において審議・可決され、正式決定されている。

以下、4件の個人助成（1～4）と、1件の団体助成（5）を行っていく。

- （1）日本版ホスピタリスト育成事業
- （2）環太平洋アジアファンドによるアジアの医療関係者の日本における医学医療研修助成
- （3）アメリカ短期看護研修
- （4）医学部夏期集中医学英語研修
- （5）本財団の目的に合致し、助成に値すると認めた学会・団体に対する助成や協賛を行う。

3. 医学医療の国際交流の促進及び普及啓発事業について

医学医療の国際交流促進による国民の保健・医療・福祉の向上に寄与するため、時宜に適ったテーマを掲げセミナー及びシンポジウム等を開催する。

また、広報活動を活発化する。

- （1）セミナー等開催計画

- ・主に医師、看護職、医療系学部生等を対象とした医学医療交流セミナー（年1回）
- ・一般を対象とした日本版ホスピタリストセミナー・シンポジウム（病院経営者向けセミナーを11月以降開催予定）

（2）広報活動

- ・会員専用ページの運用を開始し、ニュースページなどコンテンツの追加・充実を図る。財団の事業内容を適切に案内するとともに、JANAMEF フェローの声や財団の活動状況を積極的に紹介する。
- ・各学会・関係雑誌・メディア・留学支援団体等へのコンタクト構築

4. 支援事業について

国・地方自治体等の公共的な機関からの依頼に基づき、政策課題に対応するため医学医療研修者の派遣・招聘事業の支援及び医学医療に関する調査・研究事業の支援を行う。

事業内容

(2020年4月1日～2021年3月31日)

当財団が本年度計画する事業活動は以下のとおりである。

事業の項目	内容
1. 賛助会員・寄附の募集事業	<p>1) 賛助会員募集及びネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェローデータベース及び会員情報のアップデート ・賛助会員交流会の開催（年1回） ・ホスピタリスト経験のあるフェローミーティングの開催等 <p>2) 賛助会員及び寄附の募集のための定期的な連絡（年3回）</p> <p>3) 団体助成対象となる学会の2020年度セミナー大会長、及び予定が明確な場合は次年度の大会長に対する応募依頼、及び学会事務局との関係構築</p> <p>4) 臨床教育プロジェクトを通じた医療機関向けの団体会員募集の活動</p>
2. 個人助成事業及び団体助成事業	<p>1) 日本版ホスピタリスト育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期助成事業（1年以上） <p>以下を対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Internal Medicine、Family Medicine 等の分野でレジデント（臨床研修）を希望する医師 ②レジデントを終了し、General Internal Medicine フェローシップ等の専門研修を目指す医師 ③レジデントを終了しホスピタリスト等のステップアップを目指す医師 <ul style="list-style-type: none"> ●短期助成事業（1年未満） <p>ホスピタリストの役割、働き方に対する理解を深め、体験を積むことを目的とする1～2週間あるいは数ヶ月間、米国のホスピタリストである医師のもとで行う研修に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助成対象者が日本へ帰国した際の受け入れ先病院の選定の支援に向けた受け入れ先病院のネットワーク化 <p>2) 環太平洋アジアファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアの医療関係者の日本における医学医療研修助成

	<p>3) アメリカ短期看護研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国オレゴン州ポートランド市において、短期看護研修の助成 <p>4) 医学部夏期集中医学英語研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国ハワイ州 HTIC における医学部夏期集中医学英語研修の助成 <p>5) 医学医療に関する学術集会に対する寄附金受入及び助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 69 回日本アレルギー学会学術大会 9/17～20 (京都) ・ APSR2020 10/15～18 (京都) ・ 第 10 回日本在宅看護学会学術集会 11/14～15 (愛知県豊橋市) ・ 第 31 回日本小児整形外科学会学術集会 12/3～5 (名古屋) ・ 東京国際内視鏡ライブセミナー2020 会期未定 (東京) ・ 第 14 回 IT ヘルスケア学会学術大会 会期未定 (東京) ・ 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会 会期未定 (未定)
<p>3. 医学医療の国際交流の促進及び普及啓発事業</p>	<p>1) セミナー等開催計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主に医師、看護職、医療系学部生等を対象とした医学医療交流セミナー (年 1 回) 今期は帝京大学共催 (10 月 10 日) ・ 一般を対象とした日本版ホスピタリストセミナー・シンポジウム (病院経営者向けセミナーを 11 月以降開催予定) <p>2) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員専用ページ運用開始、ニュースページなどコンテンツ追加 ・ 各学会・関係雑誌・メディア・留学支援団体等へのコンタクト構築・当財団リーフレットの配布 ・ 一般・民間企業とのコンタクト構築・当財団リーフレットの配布 ・ メディアと協働した周知コンテンツの作成
<p>4. 支援事業</p>	<p>1) 茨城県指導医団国外 (ハワイ) 派遣事業の実施</p> <p>2) 埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業の書類審査及び面接の実施</p>